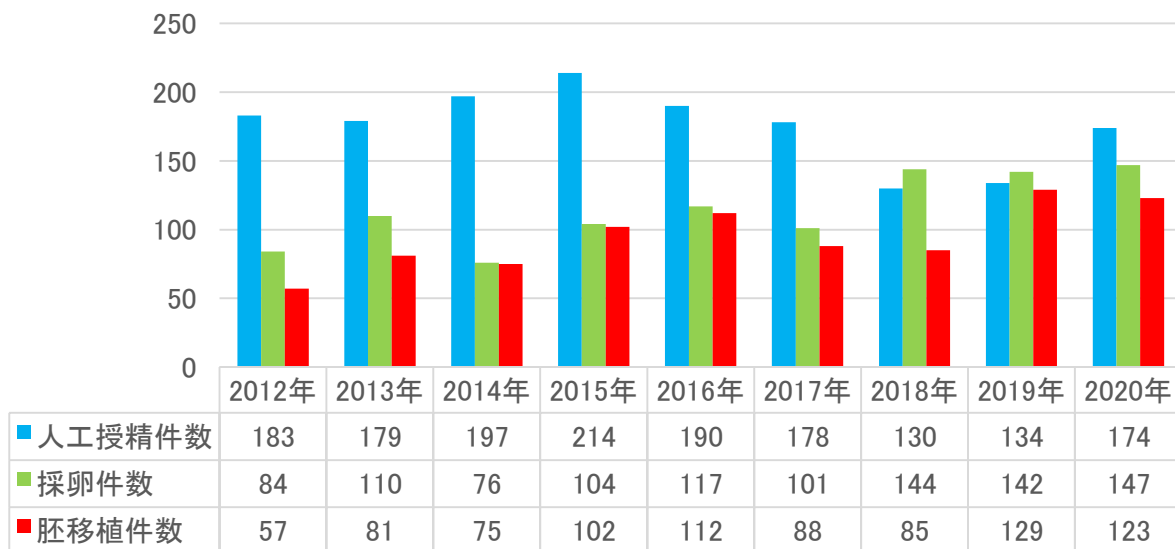


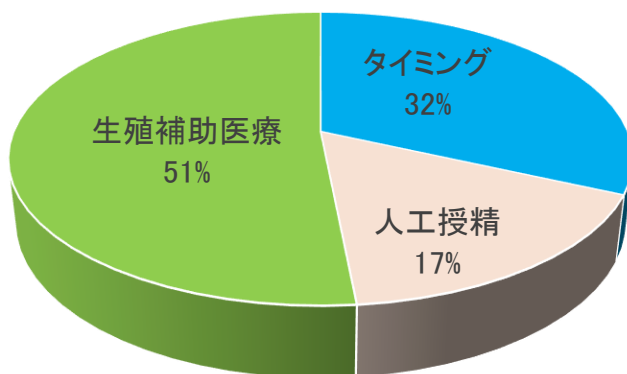
治療実績

当センターにおけるこれまでの治療実績です。

I. 年別の人工授精・採卵・凍結融解胚移植件数の推移 (2012年～2020年12月)

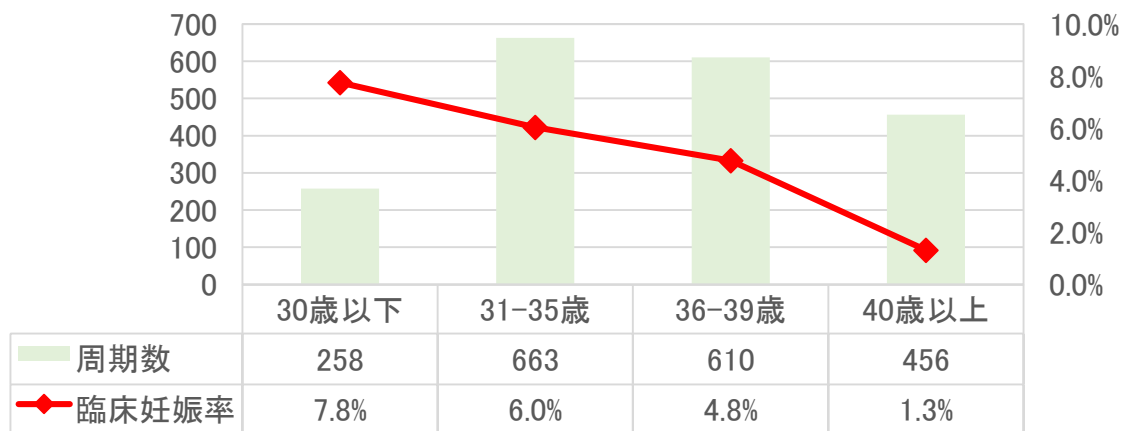


II. 妊娠された患者さんにおける治療方法の内訳 (2012年～2020年12月)



妊娠された患者さんの内訳は、一般不妊治療（タイミング療法と人工授精）が半数、生殖補助医療（体外受精・顕微授精・胚移植）が半数となっています。

III. 人工授精の臨床妊娠率（2008年～2020年12月）



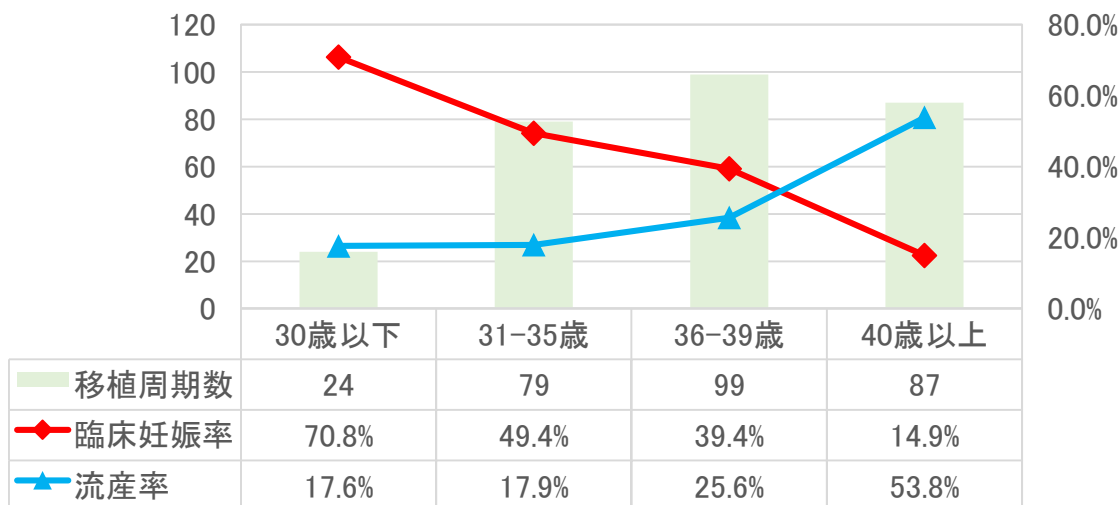
人工授精の臨床妊娠率は、年齢の上昇に伴い低下します。特に40歳以上では顕著に低下するため、早期のステップアップを提案しています。
 ※臨床妊娠とは、子宮内に胎嚢を確認出来た妊娠です。

IV. 体外受精にステップアップした症例の人工授精回数（2018年6月以降）

妻年齢	30歳以下	31～35歳	36～39歳	40歳以上	総計
採卵の件数	37	56	48	21	162
人工授精回数	4.6	4.0	3.2	2.3	3.6

人工授精から体外受精にステップアップした方の人工授精回数は、平均3.6回でした。女性年齢に応じてステップアップを提案しています。

V. 融解胚移植の臨床妊娠率（2018年6月～2020年12月）



融解胚移植においては、年齢の上昇に伴い臨床妊娠率は低下し、流産率が上昇します。